61 01 10 02 02 003

事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和03年01月29日(金)

事務事業	小・中学校教育活動推進事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6128
第２次総合計画 行政分野別		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令個別計画等	教育基本法第１６条 地教行法第２３、３３条				
中項目	200001 共に学び、成長が実感できるまちづくり						
小項目	200001 「生きる力」を育む学校教育の推進						

事業概要	小・中学校の読書活動を充実させ、効率的かつ円滑に行うために、全小中学校に学校司書を、また小学校高学年に理科支援員の配置を行う。深谷市コミュニティスクールを市内全校に指定し、地域に根差した学校への運営体制づくりを進めていく。プログラミング教育の実施に向け、ＩＣＴ支援員を配置し準備を行う。
目的 ※何のために	学校図書館整備や読書活動の推進を図る。児童の科学技術に関する興味・関心を高め、理科授業の充実を図る。プログラミング教育の準備を行う。地域に根差した学校の運営体制づくりを進める。
対象 ※誰・何を対象に	市内市立小中学校の児童生徒
手段 ※どのように	全小中学校へ学校司書を配置する。小学校（高学年中心）に対して理科支援員を配置する。 市が校外活動輸送費を一部負担する。コミュニティスクール連絡協議会等の開催、消耗品費等を負担する。
成果 ※何を求めるか	児童生徒への効果的かつ円滑な教育活動の推進を図り、読書活動、理科授業の充実等を図る。 輸送費を補助し保護者の経済的負担を軽減することで、もって心身共に健全な児童・生徒の育成を図る。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費	小学校教育活動推進事業	15,523,175
一般会計	10	教育費	03	中学校費	02	教育振興費	中学校教育活動推進事業	9,306,270
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ スクール・サポート・スタッフの配置	・
・ ＩＣＴ支援員の配置	・
・ 学校司書の配置	・
・ 理科支援員の配置	・
・ 部活動大会派遣費等の補助	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			学校図書館補助員の配置 理科支援員の配置（小） 部活動大会派遣費等の補助（中）	学校図書館補助員の配置 理科支援員の配置（小） 部活動大会派遣費等の補助（中）	スクール・サポート・スタッフ、 ＩＣＴ支援員等の配置 部活動大会派遣費等の補助（中）	スクール・サポート・スタッフ、 ＩＣＴ支援員等の配置 部活動大会派遣費等の補助（中）	スクール・サポート・スタッフ、 ＩＣＴ支援員等の配置 部活動大会派遣費等の補助（中）	
事業費	予算（現額）		22,053,000	23,585,000	21,851,000	25,643,000	45,125,000	
	決算額		19,999,051	21,025,269	21,276,036	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	2,635,000	1,266,000	2,034,000	2,337,000	14,253,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	17,364,051	19,507,269	19,242,036	23,306,000	30,872,000	
人件費	従事職員数(人)		1.05	1.30	0.65	0.75	0.75	
	人件費相当試算 ※１		8,167,950	10,116,600	5,109,650	6,111,000	6,111,000	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			28,167,001	30,889,869	26,385,686	31,754,000	51,236,000	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	学校運営協議会開催回数	目標値	回	116.00	116.00	116.00	116.00	116.00	116.00	□
			実績値		102.00	100.00	102.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間４回を目標とする。４回×２９校							
		実施回数									
□	活動指標２	ＩＣＴ支援員配置人数	目標値	人							■
			実績値		1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値は設定しない							
		配置人数実数									
□	活動指標３	プログラミング教育実施回数	目標値	回	0.00	0.00	78.00	77.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	39.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		令和２年度から全面実施（５・６年学級数×２回）							
		実施実績									
■	成果指標１	協議された案件数	目標値	件							■
			実績値		270.00	266.00	261.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値は設定しない							
		協議会議録									
■	成果指標２	学校運営に取り入れられた案件数	目標値	件							■
			実績値		270.00	266.00	261.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値は設定しない							
		協議会記録									
□	成果指標３	プログラミング的思考を使って教科課題を解決できる児童生徒の割	目標値	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１００％を目標値に設定する							

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 学校運営協議会は、各校３回を基本としていたが、活動を実効的なものにするためにさらに開催回数を増やす学校がある。プログラミング教育に関しては、夏季休業中に職員を対象とした研修を行った。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 プログラミング教育は令和２年度の全面実施に向けて実施していく。令和元年度は４年生教員を対象とした研修を行った。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	課長補佐兼指導主事　森田　欣也

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	小・中学校教育活動推進事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6128

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

ＩＣＴ支援員を増員し、プログラミング教育の導入に向けて準備を進めている。夏季休業期間中に小学校を対象に研修を行い、２学期中に全校でＩＣＴ支援員とともに授業を行った。令和２年度の全面実施に向け、全小学校で各校３回以上開催できたが、地域ぐるみの教育を推進するため、さらに協議内容等を充実し、開催されるよう促していく。

評価者	学校教育課長　下条　徹

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

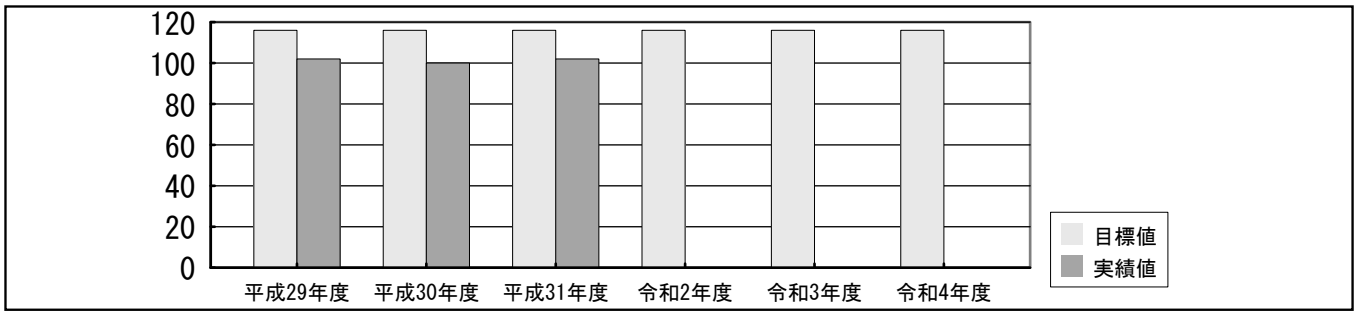
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

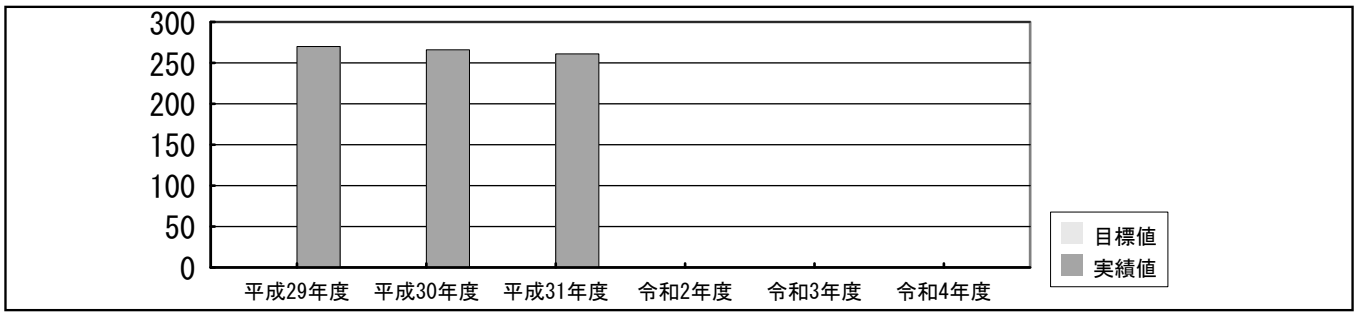
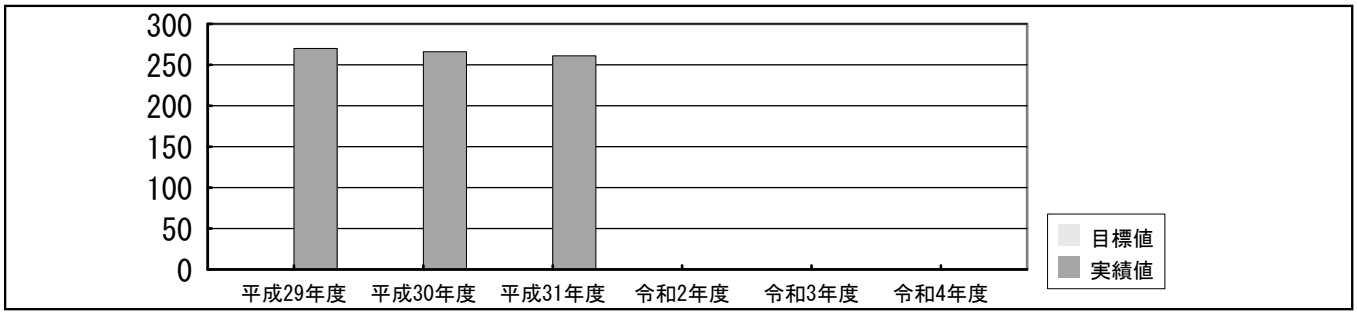
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	学校運営協議会開催回数



区分	成果指標１	指標名	協議された案件数



区分	成果指標２	指標名	学校運営に取り入れられた案件数